

2022

同友しずおか 11

VOL.528

「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった!」

「互いに支えあい、励ましあい、援けあおう」
私たちは地域にあってよかったと言われる同友会であり続けます



私の逸品

有ミートショップ富士竹

新鮮馬刺しと生食用馬レバー
～お客様に安心・
美味しいお肉を提供～



静岡県中小企業家同友会



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

2025年ビジョンの実践

【第16回】

自ら「想い」を行動に移し、
変化に繋げる

「2025年ビジョンの実践」では、ビジョンプロジェクトメンバーが静岡同友会2025年ビジョンを自社の未来と重ね合わせ、いかに実践していくかをコラム形式で毎月掲載していきます。

2025年ビジョン「企業づくり」に関わり2年が経ちました。ビジョン創りに関わっていた時に感じたことは「人に思いを伝えることの難しさ」でした。プロジェクトに関わる人達は討論や文章化することで想いが強くなり自分ごとと受け入れることができるようになります。しかし、委員が各支部に持ち帰りその想いを伝えるには温度差がはっきりとあり、ビジョンの必要性を伝えるのに難しさを感じました。広くビジョンを浸透させるために全県経営フォーラムにて伝えようとしてきました。それでも浸透するには足りなかったように私は感じました。

自社に置き換え「ビジョンを理念」にたとえれば想いを言葉にしても創った本人は体に染みこんでいますが、やはり社員とは想いがまるで違います。私は仕事そのものが楽しいですが、中には生活のためと割切っている社員もいるかもしれません。それでも理念がありそのための実践、例えばBCP作成から緊急時発電機の設置、災害時資金の準備。社員のワークバランスのために年間休日増加、退職金準備。教育では、就業規則を社員と改定&勉強会。会社の未来のために新卒求人活動の取り組みなど、想いを実現するための行動をしてきました。このようなことに取り組むことで、自身が変わり、周りも変化してきました。この経験から想い(ビジョン)からの思考、言葉、行動から周りに伝わり社員も変化していくのではないかと感じています。そのために必要なことは今の自分の殻を破り、自身が「できない、と思うこと」に進んで取り組むことが大切であると私は考え、今日も行動しています。

野川 和三氏 (株)野川商店・榛南支部)



新鮮馬刺しと生食用馬レバー ～お客様に安心・ 美味しいお肉を提供～

(有)ミートショップ富士竹 (御殿場支部)

専務取締役 武藤 裕也氏



多くのお客様がリピートする新鮮な馬肉



様々なお肉を販売する(有)ミートショップ富士竹

富士山の麓、御殿場市の閑静な住宅街。路地を入ると、「新鮮馬刺し」の看板と人々の賑わいに目を奪われます。期待を胸に、のぼり旗に彩られた入り口を通ると、清潔感溢れる明るい店内の大きなショーケースに、牛・豚・鶏などのお肉、そして、お店の売れ筋、桜色映える馬肉が陳列されています。馬肉の存在感はさることながら、驚くべきは種類の多さです。一般的な店舗では3種類程度というところ、モモ、ロース、ヒレ、レバー、コウネ、ハツ、タン、さらに珍しいところでは千本筋など、通も唸るほどの豊富なラインナップ。新鮮な馬肉を

豊富なラインナップが人気の秘訣

おいしくいただけるトリピーターが絶えない、言わずと知れた人気店です。

異業種からの継承

ミートショップ富士竹は創業50年。三島で開業し、その後、御殿場へ移転しました。今回お話を伺った専務の武藤裕也氏は、結婚を機に奥様の実家である同店を後継するため13年前に一念発起。前職ではジムのインストラクターや製造業など、様々な経験を積みましたが、食肉業界は未知の世界でした。「まずは知識や技術をしっかりと学ぶべきだ」と思い、他店への修行や学校へ通い勉強しました。食品を取り扱う上で最も大事なことは、お客様に安心して美味しいものを食べてもらうことなので、専門的な資格も意欲的に取得しました」と当時を振り返ります。

『お客様ファースト』が武藤氏の信念

「当店で人気の馬レバーは、生食用として提供できる状態へ処理をするのに、一頭当たり3時間ほどかかります。お客様がっかりさせたくないで、常に売り切れのない状態にしておきたいのですが、処理に時間がかかるため営業時間内だけでは間に合わず、休みの日も作業したくなってしまふ。そ



ショーケースには品質にこだわったお肉が並ぶ

のため常に多忙の状態です」と、笑いを交え裏話を教えてくれました。「菌ごたえも味も格別」とリピーターが絶賛する理由は、丁寧に洗練された作業と、武藤氏の思いにあったのだと強く感じます。

同友会で学び、新しいことにチャレンジしたい

同友会への入会は、子どもの習い事で親交のあった御殿場支部長の前原毅氏(ダイヤプラス(株))からの紹介でした。「同友会は異業種の方と関わりを持てる貴重な場所。仕事が忙しくなかなか例会に参加できていないが、業務の効率化も含め、先輩

方に色々相談したり、話を伺い、悩みの改善につながりたい」と今後の展望も意欲に満ちています。お店にはカエル・ワニ・カンガルーなど珍しい商品を取りそろえた「珍味コーナー」や店舗横に併設された「バーベキュー場」など魅力的なコンテンツが様々ありますが、今後も新しいことにチャレンジしていきたいと意気込みを語る同氏。止まらない進化に期待を寄せ、お土産に購入した「馬メンチ」を手に足取り軽く賑わう店を後にしました。

取材・記事：片野貴一郎氏
(株)モスク・クリエイション・御殿場支部
取材：石山美歌氏
(ラウンジ ジャシラー・御殿場支部)

(有)ミートショップ富士竹

〒412-0046 御殿場市保土沢17-12

TEL : 0550-89-2983

URL : <http://bbqhouse-fujitake.com/>

創業 1972年

社員数 5名

入会年月 2021年3月

事業内容 小売業、食肉販売業

会員訪問記

1920年から続く老舗葬儀会社

(株)石萬

取締役 平井 佑亮氏 (静岡支部)



セレモニー会館 殯 (もがり)

創業100年の葬儀会社

(株)石萬は静岡駅から西に車で7分、安倍川の少し手前にある葬儀会社です。創業は1920年。当時は石材屋を営み、墓石や石碑

を手掛けていました。現在も当時手掛けた石碑が丸子や弥勒地区に多く現存するといえます。社名である石萬は「石材」と、先代「平井萬蔵」から取っています。葬儀屋を始めたきっかけは、1940年代に役所から「石屋を

しているのなら、葬儀もやってみてほしいだろうか」と頼まれたことだそう。今では想像するのにも難しい話ではありますが、当時は同じような経緯で葬儀を始めた会社は他にもあるそうです。現在、平井氏の父が社長、母と平井氏が取締役、社員2名の体制で経営しています。

セレモニー会館 殯 (もがり)

14年前、会社事務所から70m程離れた場所に新しくホールを作りました。それまでは、自宅や寺での葬儀をメインに施工していたそうです。殯 (もがり) とは、古代日本で行われていた葬祭儀礼の名称で、故人が亡くなられてから本葬までの間、遺体を安置し別れを惜しむ儀式をとりおこなうこと、またその場所を意味します。祭壇には今から400年前江戸時代初期に作られた須弥祭壇を使っています。

(株)石萬は古くからの寺との付き



平井 佑亮氏 (会社事務所前)



人形供養祭

合いなどから、寺の紹介やリピーターが多く、売上は安定しています。反面、新規が少なく、毎年立てる目標の売上にはなかなか届かないのが悩みだといえます。新規獲得に向け、会館でコンサートイベントやヨガ教室、3月には人形供養祭などを行い、地域住民に会社を知ってもらう努力をしています。

経営の勉強のため同友会に入会

平井氏は、取締役として会社のほとんどの業務をこなしていますが、父が社長のため、「経営がどういうものなのかまだまだ勉強中です」と話します。以前、平井氏の母がオブザーバーとして例会に参加されたことがあり、同友会という経営の勉強をやっている団体があることは聞いていました。経営について学びたいと思っていたところに、社員との関係にも問題が勃発。別の会合で知り合った現静岡支部長の若杉幸秀氏(同友会)に相談したところ、同友会を紹介されて入会を決定しました。



セレモニー会館殯で使われる祭壇

10月例会の卓話とバズセッションでは「10年後の会社」について考える機会になり、「目標の売上を達成し、会社の体制を自分の考える理想に近付けていくためには、経営計画書の作成が大切だと思います」と平井氏はいいます。来期の経営指針を創る会への参加も前向きに検討しているそう。新しい仲間の経営への思いを感じる訪問となりました。

取材・記事：藤本浩氏

(プリントバリュー(株)・静岡支部)

(株)石萬

〒420-0052 静岡市葵区川越町2-6

TEL : 054-251-4242

URL : <https://www.mogari-ishiman.com/>

創業 1920年

設立 1995年

社員数 2名

入会年月 2022年6月

事業内容 葬祭業(葬儀の受注・施行)

会員訪問記

時代が変わっても地域密着は変えない

(株)フルカワ
代表取締役 古川 徹氏 (榛南支部)



(株)フルカワの社屋

御前崎市御前崎で創業67年の歴史を持ち、水道工事、プロパンガスの販売をおこなう古川徹氏(株)フルカワ・代表取締役を訪問しました。

同友会の入会は必然的に

古川氏は大学卒業後、藤枝市の建設会社に入社。現場はもちろん財務の勉強など5年間修業をした



古川 徹氏

後、1997年に(株)フルカワに入社しました。専務時代には御前崎市商工会青年部に所属し地域の交流を積み重ねていきました。経営の勉強が出来る場所を模索していたことや、旧御前崎町が旧浜岡町と合併したことで西部方面寄りの付き合いになってしまったこともあり、希薄になってきた榛南地区での繋がりを深めたいと考えていたタイミングで河原崎勝弘氏(株)河原崎商事)からお誘いがあり、ためらうことなく同友会に入会しました。

入会してすぐに代表取締役に就任。同友会では第10期県経営指針を創る会を受講しました。古川氏は「以前は何となく自分の商売はこんな感じというだけでやってきたが、先代の貫いてきた地域密着の方向性を確認することができた一言でいえば『やるのが明確になった』ことで覚悟ができた」と当時を振り返りました。

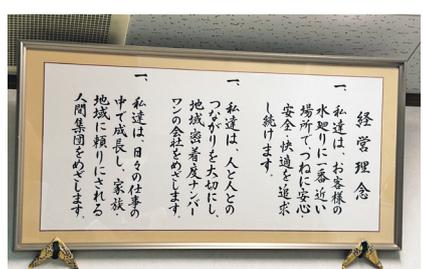
心筋梗塞！ドクターヘリで病院に搬送

2022年2月に心筋梗塞で入院。一時心肺停止、4日間意識が戻らず生死を彷徨いましたが、一命をとりとめ40日間の入院生活をを経て復帰。会社に戻った時には気にしていた仕事か思っていた以上に

上をしっかり完了していることを確認でき、病気を経て改めて社員への感謝の思いが強くなったと言います。社員からの心配もあり、できる限り現場を離れて経営に専念する仕組みづくりをすることと並行して、社員の働きやすい社内管理体制の強化を図っています。退院した現在では、自身で改装した自宅の庭で過ごすことが癒しの時間になっているそうです。

地元密着をさらに加速

病気をきっかけに自分の健康を前提に組み立てていた5年計画を見直したことで、改めて社長就任してからの9年間突っ走ってきたことに気付いたそうです。「改めて5年計画をスタッフとともに見直してのスタート。公共事業よりも、更なる民間のお客様の満足を考えることで、リピートと口コミが増え、地元密着こそが経営が安定する自社に合った方向性です」と語る古川氏。「地元でやれてない仕事はまだあります。例え



(株)フルカワの経営理念



水道付のリードフックボール

ば、ペット用の水道付のリードフックボールなども開発して提案していきたくと思っています。今後も今までと変わらず御前崎市及び近隣エリアにおける快適生活の提案力、技術力、安心感でナンバーワン・オンリーワンの企業を目指して頑張っていきます」と話します。今後、益々の地域貢献を遂げてくれると感じた訪問でした。

取材・記事：伊藤義康氏
イトウシャデイ(株)・榛南支部
取材・記事：河内崇文氏
(株)スマートブレイン・榛南支部

(株)フルカワ
〒437-1621 御前崎市御前崎4401-8
TEL：0548-63-2263
創業 1955年
設立 1972年
社員数 9名 (正社員7名(役員含む) パート2名)
入会年月 2012年3月
事業内容 一般住宅給排水衛生設備工事、プロパンガス小売り・機器販売修理、住宅リフォーム(水廻り特化)、エクステリア、住宅改修工事、新電力販売代理

富士宮支部40周年記念式典・記念講演 「叡智蒼天」～40年の知恵と経験を活かし 明るい未来へ飛躍～



10月22日(土) 富士宮市民文化会館大ホールにて富士宮支部40周年記念式典・記念講演が開催されました。当日は富士宮支部会員、富士宮市長をはじめとするご来賓、富士宮支部以外の会員延べ150名以上が参加

まず朝日康典実行委員長、伊藤洋子支部長から挨拶があり、ご来賓の須藤秀忠富士宮市長、松葉秀介県代表理事よりご祝辞を頂きました。続いて、支部40年の歴史を紡いできた功労者として歴代支部長10名が登場し、代表して河原崎信幸氏(シンコーラミ工業(株))がメッセージを送りました。続く記念講演では、元Jリーガーで現在はAub(株)で代表取締役を務める鈴木啓太氏が自身の経験をもちに、使命や目的をもって行動することの大切さを語りました。

.....
アリは巨象をものたうち回らせることがある

昭和57年4月、富士宮支部は55名で誕生し、会員数154名で式典を迎えました。40年の歳月は決して平坦では無く、多くの苦難の時もありましたが、その都度、仲間とともに乗り越えてきました。

平成4年当時の支部長、阿久澤栄一郎氏が綴った象はアリを単純には踏み潰せず、逆にアリは象をのたうち回らせることもあるという言葉。伊藤支部長はどんな困難も乗り越えていくという強い意志、中小企業の強さを感じ取り感銘を受けたと話しまし



鈴木啓太氏と伊藤支部長

た。「富士宮支部は、同友会が掲げる三つの目的『よい会社をつくろう・よい経営者になろう・よい経営環境をつくろう』を軸として、学び、実践し、その知恵を活かして持続可能な地域社会と企業づくりをしてまいります。そして十年後も新たな成果を報告できるように、これまで以上に精進して参ります」と富士宮支部の決意を参加者へ伝えました。

式典テーマ「叡智蒼天」
～学びの実践を通じて未来をつくる～

朝日康典実行委員長を始めとする実行委員チームが創造・発表したこのテーマには「叡智」＝支部会員の四十年間の知恵と経験、「蒼天」＝困難を乗り越えた先に明るい空＝未来がある、という思いを込めています。朝日氏は、多くの先輩や仲間の言葉や行動に勇気づけられ、支えられて今日があること、先輩経営者への感謝の気持ちを伝えました。

★40周年記念サイト
<http://www.doyu-fujinomiya.com/40th-anniversary/>

共育委員会若手社員フォローアップ研修 「信頼される社員へステップアップ！」

10月18日(火)、静岡市の静岡県総合社会福祉会館シズウェルにて県共育委員会主催の若手社員フォローアップ研修を開催し、会員企業より16社22名が受講しました。須山由佳子氏(㈱キャリア・アップ・浜松支部)による研修では「安心と信頼感を勝ち取る社員になるために」を目的として、入社後6か月間の振り返りを行い、質の高い報告・連絡・相談をケーススタディとグループディスカッションで学びました。須山氏より「報告」の中でも、効率的で信頼性の高い仕事を達成するために「中間報告」がポイントだと伝えました。振り返りでは、これまでで嬉しかったことや辛かったことから何を学んだかをそれぞれ発表。お互いの経験



フォローアップ研修参加者 集合写真

や考え方から多くの学びと気づきを得る場となりました。後日、参加者から「報告」の連続について中間報告の大切さが分かった」、「相手の目的に合った報告をすることを意識したい」など前向きな感想が多く寄せられました。

第15期 静岡大学連携講座

「企業経済特論Ⅳ」がスタート！ 会員経営者が中小企業の魅力や経営を学生に伝える

10月5日より、第15期静岡大学連携講座「企業経済特論Ⅳ」がスタートしました。中小企業の役割や意義、またその魅力を知ってもらうことを目的に2008年より毎年開催している本講座は今年で15年目を迎えます。静岡大学と静岡同友会は2008年に相互協力協定を締結しており、その連携の一環として本講座が開講しました。講義は全15講からなり、毎回異なる会員経営者が登壇。自社事業や自身の生き様、経営哲学を語ります。就職活動を間近に控えた学生も多く「リアルな話を聞くことができ自身の就職を考える際の参考になった」「中小企業に関心をもつきっかけになった」などの感想が毎年多数寄せられています。講義の内容を今月より毎月紹介していきます！

第1講

10月5日（水）

日本経済における中小企業の果たす役割と意義、この講座の目的

講師：遠藤 一秀氏

（遠藤科学(株)・静岡支部）

中小企業白書や経済産業省等のデータをもとに民間雇用の約70%は中小企業であること、民間で創出されるGDPの50%以上は中小企業で創出されている現状を伝え、中小企業が地域経済で果たす役割を説明しました。遠藤氏は「企業の価値は利益だけでははかれない」と言います。同社の経営理念「社員の幸福」の実現にむけた付加価値の極大化、特に社員への配分と社内留保分の最大化について実際の決算書を用いて説明。「我が社は株主ではなく社員のものだと考えている。社員のために経営し、一人当たりの労働生産性、付加価値を増やして社員へ所得を配分している」と語りました。また最後に「本講座を通して中小企業経営者の個性にふれ、中小企業へ関心をもってほしい」と学生に伝えました。



遠藤 一秀氏

第2講

10月12日（水）

飲食業経営

「想いは手法の上流にあり」

講師：大関 泉氏

（株）ジー・ディー・エス・浜松支部）

炭火焼肉「牛角」のフランチャイズ・店舗経営や、社員のアイデアから誕生した「農園レストランCOCOE」など浜松市を中心に飲食店を経営している同社。親族内承継ではなく社員から社長になった大関氏。「社員、お客様の心地よさを追求する」を「GDS 100年ビジョン」として掲げ、100年を20年ごとの5つのステージに分けて社員に伝え、新たな価値の創造に取り組んでいます。同社では「従業員感動満足」が「顧客感動満足」に繋がると考えており、社員教育にも力を入れています。社会から必要とされる自立した人間になることを目指し、書籍『7つの習慣』などを用いた社内勉強会も積極的に行っています。また、社長として、経営には「意志力」と「実践力」の両方が必要であると話しました。最後に学生に「手法よりも『何のために』するかが大切。大切なことは自分の意志で決める。『自分がやる』という主人公意識をもって行動してほしい」と学生にメッセージを送りました。



大関 泉氏

第3講

10月19日（水）

私たちは、何と戦い、

何を守っているか？

講師：渡邊 昌和氏

（株）中里メッキ・富士宮支部）



渡邊 昌和氏

富士宮市で表面処理加工業（メッキ加工）をおこなう(株)中里メッキ。特に内面メッキの技術では日本でも有数の技術を誇っています。自動車部品や二輪オートバイ部品、電気機器、医療機器などの製造を中心におこなっていますが、コロナ禍で売上が減少。社員からの提案で初めての自社製品となる足踏み式の消毒液スタンドの製造・販売に取り組みました。直接、顧客と関わり、笑顔や感謝の声を聞いたことで「世の中に必要なものを製造することが人々の幸せに繋がる」と強く実感したと言います。カーボンニュートラルや電気代高騰など大きく変化する外部環境の中で、世界に誇る日本の製造業の技術を子ども達の未来に残していきたいと強く願う渡邊氏。最後に「創業から守り続けてきた技術を継承し、歩みを止めることなく『ものづくり』への想いを繋いでいきたい」と学生にメッセージを送りました。

計報

浜松支部会員の野田元保氏（株）ブテック）がご逝去されました
謹んでご冥福をお祈りいたします

11月・12月

DOYU CALENDAR

11月16日(水)~12月15日(木)

11月18日(金)	第36回全県経営フォーラム (13:00)
21日(月)	県共済委員会 (18:30 ZOOM)
22日(火)	県例会企画委員会 (18:30 ZOOM) 県共同求人委員会 (19:00 事務局&ZOOM)
24日(木)	県理事会 (リアル開催のみ) (17:00 中島屋グランドホテル) 榛南例会 (19:00 [行き先]きてご榛原 (島田掛川信用金庫 榛原支店2階))
25日(金)	イントロセミナー (19:00 事務局&ZOOM)
26日(土)~27日(日)	第19期経営指針を創る会 経営指針発表会 (9:00 静岡駅前会議室LINK B301)
12月1日(木)	正副代表理事会 (15:00 事務局&ZOOM)
2日(金)	総務財務委員会 (16:00 事務局&ZOOM)
6日(火)	県広報情報化委員会 (19:00 事務局&ZOOM)

7日(水)	女性部オープニングセミナー (13:30 レイアップ御幸町ビル6階&ZOOM)
8日(木)	中遠例会 (18:30 ほろ酔い村 映里砂) 浜松例会 (18:30 ほろ酔い村 映里砂)
9日(金)	富士宮例会 (18:30 フォレストヒルズ)
13日(火)	伊東例会 (19:00 伊東商工会議所 会議室) 静岡例会 (19:00 教育会館&ZOOM)
14日(水)	御殿場例会 (19:00 名鉄菜館) 志太例会 (19:00 割烹おせん)
15日(木)	富士例会 (19:00 ロゼシアター&ZOOM) 榛南例会 (19:00 うおとも)



《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1059 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者	氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
すずき 鈴木 雄大	森田土木(株) 土木工事業	伊東	三浦 大輔	もちつき 望月 琢也	(株)左京 雛人形・五月人形の製造・卸等 SNS等のコンサルティング	静岡	山本 義彦 山本 健二
さの 佐野 雅文	合同会社 Coming True パー3店舗・居酒屋・iphone修理	沼津	津賀由布子	もちつき 望月 康仁	(株)エムテック ビジネスホン、防犯カメラの販売及び施工、ネットワーク機器販売及び配線工事	静岡	藤本 浩
うちだ 内田 貴子	(株)太洋観光トラベル 旅行代理店	富士	小澤 敏明	やまなし 山梨 仁見	(株)ヤマナシコマース 飲食店・小売店のコンサルティング、オンライン英会話学校・オンライン中国語学校の運営、通信制高校サポート校の運営、ライフスタイルショップの運営、木製雑貨・得意照明の製造販売、飲食店の企画運営、Webサイトのデザイン・制作	静岡	橋本 和幸
おおむら 大村 康男	(株)大泰産業 自動車部品試作、各種板金	富士	小澤 敏明	しまもと 眞本 倫也	(株)眞本運輸 一般貨物運送事業	志太	松葉 秀介
さの 佐野 晋也	(株)Gun・Bike 二輪販売、修理	富士	太田 誠	いいた 飯田 康人	(株)Total Life Design 生命保険・損害保険代理店事業	浜松	鈴木 真仁
はやし 林 美咲	川島(株) 製造、請負、倉庫、運送、派遣	富士宮	高田 磨人	かとう 加藤 のぶよし	(株)仲栄総合サービス 労働者派遣事業・有料職業紹介事業・保育所運営・構内請負業・内職請負業・障害者自立支援事業・在留資格審査関係取次事業	浜松	鈴木 真仁
まつなが 松永 一彦	(株)M's One 産業廃棄物収集運搬業	富士宮	宇佐美健介				

名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
まつだ 松田 翔太	(株)清栄メンテナンス ビルメンテナンス業務・内装工事・設備工事業務	沼津	松田 一哉
こばやし 小林 大介	キャルシステムコンサルティング(株) 一般企業向けオリジナルソフトウェアの設計・開発・販売、物流企業・倉庫事業者向けの専用パッケージソフトの設計・開発・販売	富士宮	稲葉 允章
すずき 鈴木 康司	島田掛川信用金庫 信用金庫法に基づく金融業務 (預金、融資、内国為替、その他代理業務等)とこれに付随する業務	中遠	原田 佳典

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。

会社における私の状況

直轄部門に一通り配属 (製造部1年⇒技術部3年⇒営業部4年)
現在、経営企画室4年目 (取締役3年目)



ZOOMから報告する赤堀氏

加くください。

11月イントロセミナー

誠実な仕事を通じて社員の豊かな生活の実現を目指す!

10月28日(金) 同友会会議室&ZOOM

オプザーバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。10月は会員・オプザーバー合わせて8名が参加しました。沼津市東権路で粉粒体の貯蔵・供給・輸送およびその周辺機器の設計・製作・販売をおこなう赤武エンジニアリング(株)取締役の赤堀芳太郎氏が登壇。粉体ハンドリング装置(粉を扱う工程を自動化する装置)に特化し、完全受注型で顧客の要望に沿った製品を提供し全国に取引先を持つ同社。ニッチな商品を扱うことで、業界でも存在感を示しています。後継者である赤堀氏は企業のミッションに掲げている「顧客の創造をとおして、永続的に発展し、社会に貢献する」を実現すべく、社内内の組織改革や技術継承、新たな分野へのチャレンジを報告しました。パズセクションでは「変革にチャレンジするとき、どのように周囲を巻き込んでいきますか？」をテーマに、経営者の考えを社員にどのように伝える、実践に繋げていくのかを話し合いました。

次回は11月25日(金)に開催します！ぜひお知り合いの経営者にご参加ください。